

走査型電子顕微鏡(SEM) X線分析装置（EDS）基礎演習

走査型電子顕微鏡（SEM）は、金属、半導体、セラミックスなどの無機物質から医学・生物学など幅広い分野で活用されており、様々な材料の微小領域の観察や分析に用いられています。今回の技術講習会は実習をメインにし、FE-SEM（JEOL製JSM-6701F, CCD付）、EDS（オックスフォード・インストゥルメンツ社製INCA PentaFETx3）を用いて、SEMの基本的な使い方から、EDSによる応用分析までを行います。実機に触れて学べる絶好の機会です。ぜひ、ご参加ください。

CCD：イメージセンサで現像せずに像を取得できます。

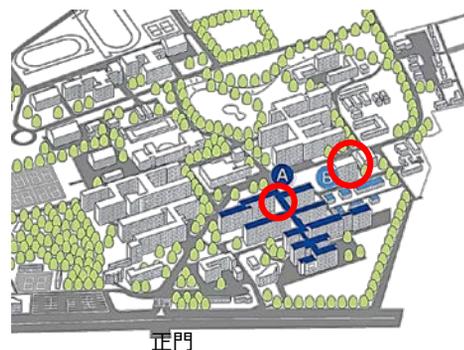
EDS：エネルギー分散型X線分析装置。SEMによって観察された極微小部分の化学組成が測定できます。標準試料の作成により定量分析も可能です。

日時・場所 2019年 **3月4日**（月）

座学：鳥取大学 研究基盤センターVBL棟
セミナー室 **B**

実習：工学部 A棟 共通実験室4階(4604室) **A**
(〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101)

※：座学については、米子キャンパスでLAN中継、及びWebに繋がる個別PCにも中継（受講）可能です（申込時にお知らせください）



プログラム 10時-12時 座学（SEM,EDSの原理,構造,応用例）
13時-15時 実習1（SEMの試料交換,軸合わせ,画像取得,条件設定のポイント）
15時-17時 実習2（EDSの条件設定,定性,定量,マッピングなど）

講師 菊地 辰佳 氏（日本電子株式会社 サービス企画推進本部 R&D推進部）

対象・定員 実習6名程度（お申し込み多数の場合は、調整させていただきます。 ※1）

対象者は、鳥取大学またはTIFNet参加機関に所属されている方に限定させていただきます。

※1：鳥取大学の場合、教員・研究員・M1生・院進学予定の学部生の何れかに該当する者。また、各研究室等から参加可能な人数は1名とします。

TIFNetの場合、各機関から参加可能な人数は1名とします。

申込・連絡先 2月25日（月） 必着

参加希望の方は、以下の連絡先に「所属・氏名・職名等・E-mailアドレス」を記載したメールをお送りください。（※ご提供いただいた情報は、参加者の事前把握および今後のイベントの企画立案に利用いたします。）

鳥取大学 研究推進機構（設備サポート担当）

西村・池成（鳥取地区担当） E-mail：desp@ml.adm.tottori-u.ac.jp

TEL：（0857）31-6013 ※電話はお問合せのみ

走査型電子顕微鏡(SEM) X線分析装置（EDS）基礎演習

申込期限:2月25日(月)

座学の希望場所※2	【鳥取キャンパス】	【米子キャンパス】	【個別PC】
その他の希望内容※2 (鳥取キャンパスのみ)	【 実 習 1 】	【 実 習 2 】	
機関名・企業名			
連絡先	電話番号		
	メールアドレス		
お名前 (連名可)			

※2：午前の座学については、希望する場所を3択の中から一つを選んで○をお付けください。
 「米子キャンパス」を選択の場合は、追って会場の情報をお送りします。(但し、E-mailに限らせていただきます)
 「個別PC」を選択の場合は、追って詳細情報をお送りします。(但し、E-mailに限らせていただきます)
 午後の実習1, 2は、鳥取会場のみ受講が可能です。受講されるものに○(同時選択可)をお付けください。
 ・選択例として、「個別PC」と「実習1」と「実習2」の総ての同時選択は可能です。

質問事項(任意)

ご提供いただいた個人情報は、参加者の事前把握および今後の支援活動の企画立案に利用いたします
 また、次回以降のセミナー等のお知らせにも利用させていただくことがありますが、お申し出があれば中止いたします

○FAXで申し込む

この用紙を記入しFAXでお送り下さい。FAX:(0857)31-5464

○メールで申し込む

機関名・企業名・お名前・ご連絡先(電話・メールアドレス)をご記入の上、下記メールアドレスにお送りください。

メールアドレス: desp@ml.adm.tottori-u.ac.jp

FAX
送信方向

TIFNet窓口（鳥取大学 研究推進機構）
FAX: 0857-31-5464